

県民一人ひとりが“意識”と“行動”を**変え**、 かけがえのない愛媛の環境を守り、引き継いでいきましょう

愛媛県では、「愛媛県地球温暖化対策実行計画」を策定し、様々な取組みを進めています。

長期目標 2050年 温室効果ガス排出実質ゼロの「**脱炭素社会**」

中期目標 2030年度 2013年度比で温室効果ガス排出量**27.0%削減**

気候変動の被害を食い止めるためには、継続して温室効果ガスの排出削減「緩和策」に取り組むとともに、**気候変動によって生じる様々な環境変化を知り、私たち一人ひとりが計画的に変化に備えていく「適応策」にも取り組む必要があります。**

緩和

- 根本的な原因を断つ
- 温室効果ガスの排出を減らす

適応

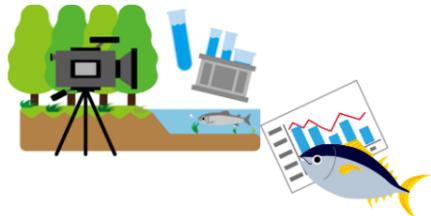
- 環境変化に備える
- 影響を小さくする

気候変動影響に備えましょう

【適応策の例】



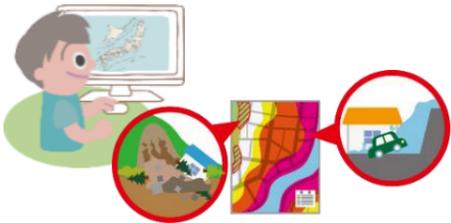
高温耐性品種の導入



生態系のモニタリング、
希少種の保護



防虫のためのネット使用、
ほだ場に寒冷紗を導入



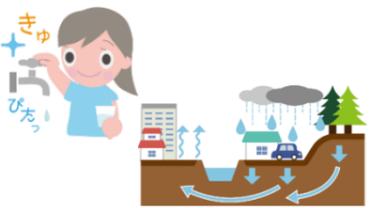
ハザードマップの確認



適切なエアコン活用、
こまめな水分補給



作業員の安全管理、
保水性アスファルト舗装



節水、雨水の再生利用



感染症媒介蚊の
調査、予防



ロボット技術やICTの導
入による作業負担の軽減

〈愛媛県気候変動適応センター〉

住所 : 〒790-0003 愛媛県松山市三番町8-234 (愛媛県立衛生環境研究所内)
TEL : 089-931-8757 / FAX : 089-934-6466
MAIL : kikoutekiou-cnt@pref.ehime.lg.jp
URL : <http://www.pref.ehime.jp/h25115/kikouhendoug020402.html>



えひめの未来を考えよう！

気候**変**動の話

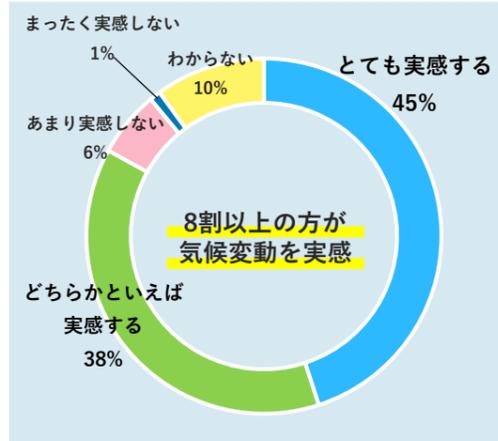
～気候変動影響に備えましょう～



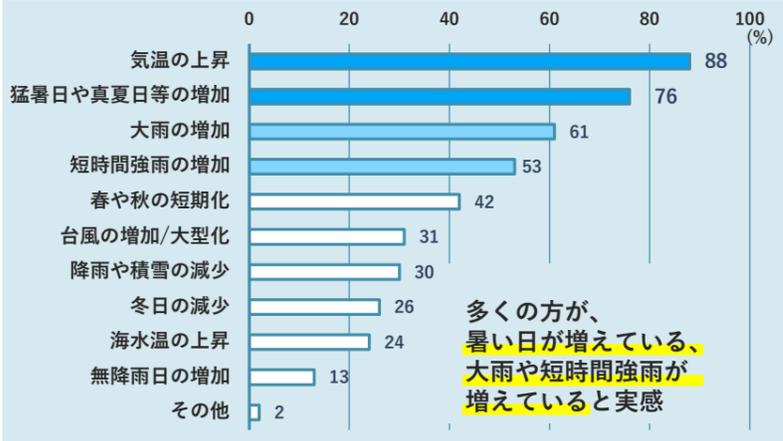
愛媛県

多くの方が気候の異変を実感しています! ~県民アンケートから~

Q1 日々の生活や活動の中で、気候変動やその影響を実感することはありますか?



Q2 日々の生活や活動の中で、以前と比べて実感している気候変動はありますか? (複数回答)



Q3 日々の生活や活動の中で、実感したり不安に思ったりしている「気候変動の影響」はありますか? (複数回答)

7割以上の方から、大雨災害や熱中症の増加について、実感したり不安に思っていると回答がありました。また、約3割の方が、農作物や水産物に与える影響に不安を感じているという結果になりました。

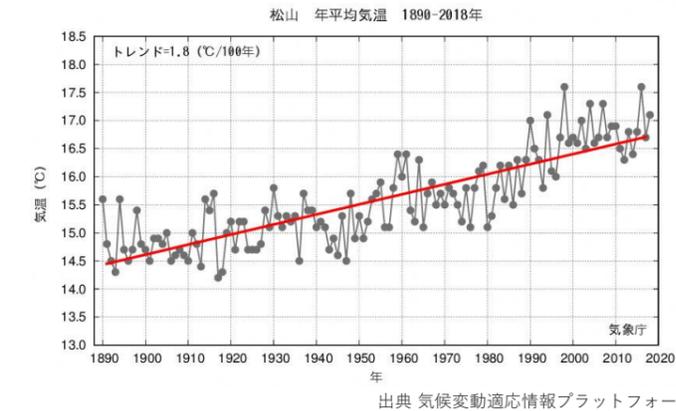
1	大雨災害(土砂災害、浸水害、洪水害)の増加	77%	4	農作物の収穫量や品質の低下	34%
2	熱中症の増加	73%	5	水産物の漁獲量や魚種の減少	29%
3	台風の発生数や接近数、被害の増加	44%	6	蚊やダニの分布域拡大による感染症の拡大	23%

アンケート概要

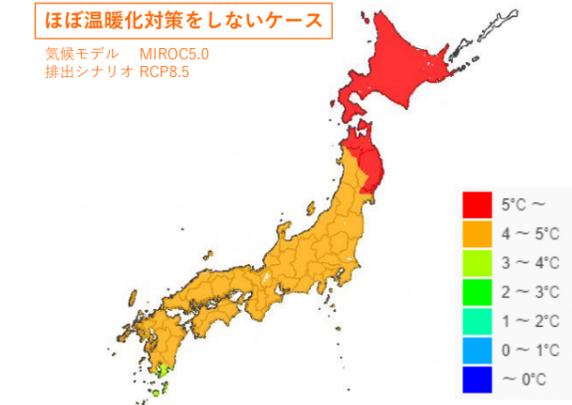
県主催のイベント、WEB等を活用して調査を実施し、776名の方から回答をいただきました。
 実施期間 | 令和2年9月~12月(配布式) / 令和2年8月(WEB式)
 実施場所 | えひめ環境大学、高校生ワークショップ、小中学生自然観察会など(配布式) / 愛媛県政課題調査(WEB式)

実感は的中?! これからますます変わる愛媛の気候

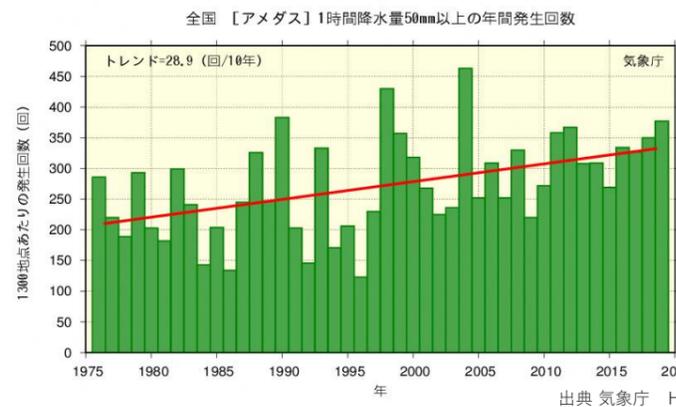
年平均気温の長期的な変化
 松山の年平均気温は長期的に有意に上昇しており、100年あたり1.8°C(1890-2018年)の割合で上昇しています



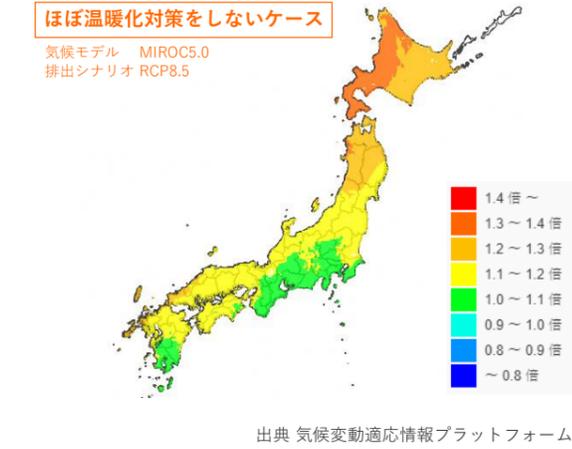
年平均気温の予測(2100年) 21世紀末までの間に最大4~5°C上昇するおそれ



雨の降り方の長期的な変化
 日本全国で、1時間あたり降水量50mm以上の年間発生回数は増加しています

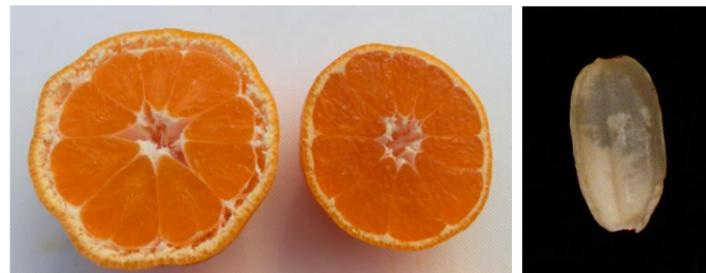


年平均降水量の予測(2100年) 21世紀末までの間に最大1.1~1.2倍になるおそれ



柑橘王国、水産王国の愛媛も大変! 農業・林業・水産業の分野でも影響や被害が出始めています ~生産団体向けアンケート等から~

農業 農業関係者の声 / 気温が上がり、雨が多くなったことで、“浮き皮”などの“果皮障害”が深刻になっています。
 気温が上がったことで、“白未熟粒の発生”や“生育不良”など、お米の等級低下につながる影響が出ています。



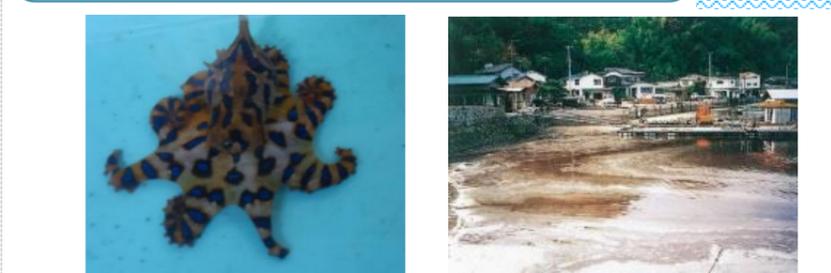
浮き皮と正常果 出典: 愛媛県農林水産研究所 みかん研究所
 白未熟粒 出典: 愛媛県農林水産研究所

林業 林業関係者の声 / 一度に降る雨の量が多く、過去に崩れたことがなかったような場所で、山腹の崩壊が増えています。
 シカの生息域拡大による枝葉食害(苗木、幼木)や剥皮被害が増えています。



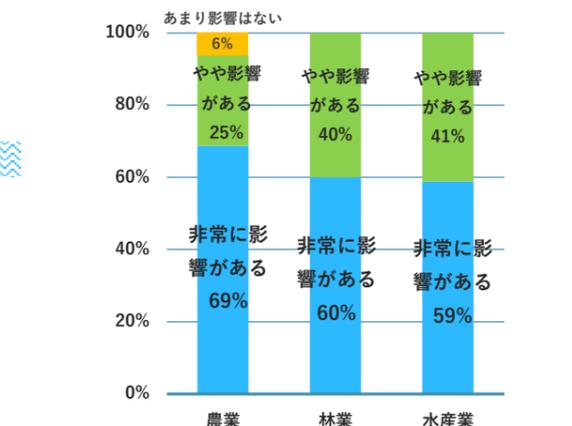
山腹・林道崩壊の様子 出典: 愛媛県林業政策課
 ヒノキの食害(シカ)の様子 出典: 愛媛県生物多様性センター

水産業 水産関係者の声 / 以前は見られなかった熱帯系の魚も網にかかるようになりました。また、有毒生物であるヒョウモンダコなども目撃されるようになりました。
 海水温の上昇により、赤潮プランクトンの発生時期や種類が変化することが懸念されます。



ヒョウモンダコ 出典: 愛媛県水産課
 赤潮発生の様子 出典: 愛媛県かん水養魚協議会

気候変動が生産基盤に及ぼす影響 ほとんどの組合が、気候変動による生産基盤への影響を感じている



県内の農業協同組合、森林組合、漁業協同組合を対象にアンケート調査を実施